



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
新任医師紹介	2.3
糖尿病教室からのお知らせ	
訪問看護について	4.5
発熱者外来について	6
地域連携医のご紹介	
編集後記	7
外来担当医表	8



ごあいさつ

昨年は年の初めより新型コロナで日本のみならず世界中で感染対策に追われた一年でした。年が変わっても感染の勢いは収まらない様子で、医療機関におきましては通常医療業務と感染症対応業務という相容れない両者への対応に追われております。当院におきましても発熱でお困りの患者様に対して、他の患者様と接触しないよう時間的・空間的動線を分離して発熱外来を開き、その一方で通常の救急対応を含めた医療業務を継続して行っております。一般外来に発熱の方が混じらないよう細心の注意を払いながら日々の業務を進めているところです。現時点まで幸いにも入院患者様を含めた陽性者が出るような院内感染は生じておりませんが、いつ何時マスクミに取り上げられているような職員および患者様に感染が起きてもおかしくない状況ではあります。職員全体で感染予防に努める一方、患者様にも有症状者のみならず全ての方が感染しない、感染させない対応で臨まねばなりません。治療薬とワクチンが揃わない限り、見えない敵に対して予防のみで戦わねばなりません。したがって新型コロナを予防しながら、従来の病気と対峙していかなければなりません。

病院スタッフは発熱外来の運営と診療・検査医療機関としての活動を通じ、公立病院の職員としてプライドを持って地域医療に対応しているところです。地域医療の充実のために継続して何ができるかを模索しながら今後も努力していく所存です。身近で、信頼される病院を目指して職員一同頑張っておりますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

亀岡市病院事業管理者
兼亀岡市立病院長事務取扱
兼地域医療情報センター長 玉井 和夫



新任医師紹介

外 科



- ①名 前……………井村 健一郎（いむら けんいちろう）
- ②年 齢……………52 歳
- ③出 身……………愛媛県
- ④得意とする診療内容……大腸癌の腹腔鏡手術、一般外科
- ⑤趣味など……………映画鑑賞、ドライブ

⑥皆さまへのメッセージ……………

2020年4月より外科部長として赴任させていただきました、井村健一郎と申します。

専門は消化器癌で、こちらに着任させていただく前は京都第一赤十字病院で、特に大腸癌の腹腔鏡手術に関し研鑽してまいりました。従来の開腹手術と比べ腹腔鏡手術は創が小さいため術後の痛みが少なく感染するリスクも低いため全身状態の回復も早い、拡大視効果により細かい処置ができるため出血量も少ないといったメリットがあります。デメリットは手術時間が長い、手技の取得に時間を要す、偶発的な出血に弱い等でしょうか。数年前までは腹腔鏡手術の適応は早期がんに限られていましたが、徐々に適応は拡大され大腸癌は進行癌に関しても適応が広がってきています。年齢に関して、御高齢であっても耐術能があると判断されれば適応となります。御高齢であれば術後疼痛などで臥床期間が長くなれば、四肢の筋力低下が進み寝たきりとなる

こともあり得ますし、認知症の出現及び悪化なども起こりえます。腹腔鏡が適応できれば術後離床も早いためそのような弊害も回避できる可能性があります。もちろんさらに早期発見できれば、外科的な対応ではなく内科的に内視鏡手術で切除できる症例もあり、それができるに越したことはありません。そのためには定期的な人間ドックの活用や、気になる症状、例えば便に血が混じるとか、食事の通過が悪い、便が細くなるなどの症状があれば速やかに当院などの医療機関を受診していただくことが肝要です。また消化器癌の腹腔鏡手術以外にも、胆石症による胆嚢炎や、鼠径ヘルニアなども腹腔鏡手術を行っています。その他いぼ痔や切れ痔などの肛門疾患や体表のできもの等も対応できます。外科的な症状かお迷いの際でもお気軽に相談していただければ幸いです。何よりこの地域での外科的責務を全う出来るように努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



麻 酔 科



- ①名 前……………坂根 慶弥(さかね よしや)
- ②年 齢……………38 歳
- ③出 身……………京都府
- ④得意とする診療内容……………麻酔科内科
- ⑤趣味など……………今は休みの日の我が子との時間

⑥皆さまへのメッセージ……………

2020 年 4 月より亀岡市立病院麻酔科として赴任することになりました、坂根慶弥と申します。

私は、2008 年に自治医科大学卒業後、京都府立医科大学附属北部医療センターで初期研修を終え、以後は、自治医科大学のへき地・地域医療貢献の理念に則り、義務年限期間は全て地域医療に従事しました。元来麻酔科学、心臓カテーテル検査・治療やペースメーカ関連、消化器内視鏡など、麻酔と内科全般に興味、志を持っていたこともあり、それらのことに関して、多くの方々の温かいご協力も頂き、全力で遂行することができました。しかし、嬉しいことばかりではなく、僻地・地域医療の大変さも目の当たりにしました。まず常勤医師不足。需要・供給のバランスが完全に需要に偏っていること。開業医を含めた医療機関の少なさ。3 次救急疾患患者さんの搬送に一山も二山も越えていかないといけない。独居、親族が遠方のご高齢患者さんの入院後の退院支援計画・多職種合同カンファレンス、介護保険含めた介護計画、訪問看護(診療)の調整などなど全てに携わること。初診・救急外来、そして、入院、入院中の検査加療から、退院後計画、退院後の外来加療継続など、その患者さんの 1 から 10 まで付き添うこと。これは当然やりがいもあり、患者さんや我々医療者にとっても大変満足度の高いことですが、本気で遂行することは大変なことです。正直心が折れそうになるくらいに時間的、肉体的に追い込まれることも多々ありました。しかし、こ

こで痛感したこと、それは、やはり自分一人で医療なんかできない、多職種との連携、チームあつての医療であるということ。これまで、看護師、放射線技師、薬剤師、栄養士、PT、OT、ST、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、介護福祉士、事務の方々、退院支援センター、地域連携室、訪問看護部などなど幾多の方、部門にどれほど助けられたか、感謝してもしきれません。

麻酔科医は「手術室における内科医」とも言われることがあります。既述の通り、これまでに培ってきた内科的な知識や技術、ザ・チーム医療といった経験も大いに活かし、患者さんが安心して手術を受けられるように、術中麻酔管理は当然ですが、術前リスク評価と患者さん個々に対する最適な麻酔法の提供、術後管理を行ってまいります。また、自分も向学心を忘れずに麻酔科内科として精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。





糖尿病教室からのお知らせ

毎年 11 月 14 日を含む 1 週間は「糖尿病週間」です。

2020 年の糖尿病週間テーマは

「サルコペニア・フレイル」

標語は

「筋肉量 コツコツ積み上げ 健康長寿」

でした。

「サルコペニア」とは、ギリシャ語で「筋肉」を意味する「サルコ」と「喪失」を意味する「ペニア」を組み合わせた言葉で「加齢に伴って生じる骨格筋量と骨格筋力の低下」のことです。高齢者の身体機能や認知機能が低下して虚弱となった状態を「フレイル」と呼びます。寝たきりになりやすい状態として、最近注目されています。健康な状態から「サルコペニア」をへて「フレイル」となり寝たきりとなると考えられています。

糖尿病では、このサルコペニアが起きやすいことが知られています。皆様にご協力いただいている「糖尿病調査」からも、亀岡市立病院糖尿病内科にご通院中の方の 8%が「サルコペニア」になっていることが明らかになりました。

ふくらはぎの一番太い部分に、両手の親指と人差し指同士を合わせるようにして輪を作り、輪でふくらはぎを囲むことができるとこのサルコペニアの恐れがあります。片足で立てない、信号を渡りきることが難しい場合もサルコペニアの恐れがあります。

私たちの外来でもサルコペニアには注意しており、皆様に握力の測定をお勧めすることがあります。握力が男性で 26kg 未満、女性で 18kg 未満の場合もサルコペニアの恐れがあります。インボディ検査では全身の筋肉量を測定することが可能です。

それでは、このサルコペニア、どうすればいいのでしょうか。サルコペニアの予防には運動療法が薦められます。散歩に加えて、手を大きく振って歩く、大股で歩く、少し早く歩くなどで少し強く歩き、心拍が早くなる、少し息切れするよう

であればゆっくり歩くというインターバル歩行が薦められます。また、ラジオ体操などの体操・ストレッチもおすすめです。30 分ごとに 3 分軽く体を動かすだけでも十分効果が期待できます。

急な運動は心臓や関節の負担になります。転倒による骨折・ケガにも十分気を付けてください。気候が良い時期にしっかりからだを動かし、筋力・体力づくりを行ってください。当院では、毎月、糖尿病教室を開催しています。現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していますが、どなたでも予約不要でご参加いただけますので、再開しましたらぜひお気軽にお越しください。





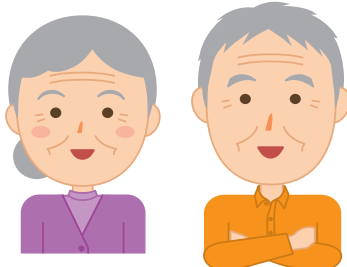
亀岡市立病院訪問看護について

これまでの退院前在宅訪問・退院後在宅訪問に加えて外来通院中の方にも訪問看護を利用していただけようになりました。

たとえばこんなとき

外来で治療が始まったけれど、家で何かあると心配・・・

外来通院での治療が決まったけど、妻の負担にならないだろうか・・・



治療をしながらでもご自宅で安心して療養ができるよう病院・在宅チームと連携して看護を継続します！



対象者：当院を退院する際に医療的ケアを必要とされている方
当院外来に通院中の方で医療的ケアが必要となられた方

内 容：①地域の訪問看護をすでにご利用の方で医療的ケアを在宅で継続するために利用されている訪問看護師と当院の認定看護師が同時に訪問して連携をとります。
②初めて訪問看護を導入して在宅療養を希望される方に病院看護師が訪問してケアの継続と日常生活の健康相談に応じます。

* 当院では地域の在宅医療者などと連携し、外来通院中・入院前・入院中・退院前の在宅療養支援を推進しています。上記のどのタイミングでも患者支援センターを中心に病棟スタッフ・外来スタッフと今後の療養生活について相談することが可能です。お気軽にご相談ください。





発熱者外来について

体調不良で外来受診された患者さまの中で発熱のある方については、新型コロナウイルス感染の可能性も否定できません。当院では、まず看護師が患者さまの状況確認をさせていただいた後、受診が必要と判断された場合は、患者さま間での感染を予防する目的で、他の患者さまと分けて診察する必要がありますので発熱者外来に誘導させていただくことになります。

発熱者外来の中でも、一度に多くの患者さまが受診されますと患者さま間での相互感染の危険性も出てきますので、予約制で対応しております。現時点においては午後の限られた時間での対応となっておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

- 息苦しさ（呼吸困難）強いだるさ（倦怠感）高熱等の強い症状のいずれかがある
 - 基礎疾患がある方や高齢者など重症化しやすい方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある
 - 上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている
- 以上の症状にあてはまる方は直接医療機関へ行く前にかかりつけ医療機関へご相談ください。

☆休日・夜間やかかりつけ医のいない方



☆新型コロナ医療相談センターに電話

075-414-5487 (365にち24時間)

亀岡市立病院 (平日 9:30 ~ 11:30)

(TEL) 0771-25-7313 (FAX) 0771-25-7312

★看護師が症状についてのご相談・受診調整をいたします。発熱者外来は平日予約制となっておりますので、症状にあわせて翌日以降の受診をお願いする場合がございます。



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

地域連携医のご紹介

永田眼科クリニック

院長：永田 真帆

住所：〒621-0835
亀岡市篠町浄法寺中村35番地3

電話：0771-23-1236

ファックス：0771-23-1239

標榜科目：眼科

診察時間：午前9時から12時、
午後4時から6時(水・土は午前診のみ)
休診は日曜日・祝日

手術日：月曜日午後・木曜日午後

院長より一言

亀岡で診療を続けてきたご縁で2018年4月に国道9号線頼政塚交差点近くで開院しました。夫(永田健児)は亀岡市立病院で眼科非常勤医師として約9年勤め、その後当院で週3回の診療と手術を担当しています。網膜剥離や黄斑上膜等の治療である硝子体手術ができる施設は亀岡市では他にありませんが、当院では「日帰り硝子体手術」を行っています。緊急性が高い症例には臨時手術にも対応しています。通常の白内障手術はもちろん、難症例白内障手術、老視に対応した「多焦点眼内レンズ」を用いた白内障手術も行っています。光干渉断層眼底撮影による眼底疾患や緑内障の詳細

な診断や、広角眼底カメラによる無散瞳での眼底観察も可能です。眼球運動障害や視野障害に対する画像診断や、糖尿病網膜症等の患者様の連携診療など、亀岡市立病院と連携し診療にあたっています。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



編集後記

新型コロナウイルス感染への不安が拡がる中、病院職員も、それぞれの立場で市民の皆様が抱える不安を少しでも減らせるようにと日々試行錯誤をしています。発熱のある患者さまからの相談をお受けすることも多いですが、大きな不安を抱えておられた患者さまが診察を受けて安心して帰られる姿を見ると心から「良かった。」と安堵します。また「病院の皆さんも大変ですね。頑張ってください。」という言葉に何度も励まされています。コミュニケーションが希薄になりがちな今だからこそ人間同士の心の対話が大切だと感じる今日この頃です。

マスクして安心届ける天使かな・・・！を心に、病院職員のチーム力を最大限に発揮して地域の皆様とともにウィズコロナで頑張りたいと思います。

広報委員会 村上 恵子(看護師)

外来担当医表 (2021年3月現在)


 亀岡市立病院
 Kameoka municipal hospital

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆ き こ 上原 有紀子	うめ むら あつ し 樫 村 敦 詩	おか だ よし ひさ 岡 田 頼 久	—————	岡 田 頼 久
循環器内科	かね こ な る か 金 児 奈 瑠 香	ふく い けん すけ 福 居 顯 介	すが たか おみ 菅 孝 臣	福 居 顯 介	松 尾 龍 平
一般内科	けい ら なつ や 計 良 夏 哉 (第1・3・5週)	き むら ふみ こ 木 村 史 子	まつ お りょう へい 松 尾 龍 平	まつ もと よう すけ 松 本 洋 典	木 村 史 子
	き むら たい こう 木 村 兌 弘 (第2・4週)	し むら ゆう 志 村 勇 司 (予約のみ)			
神経内科	—————	—————	—————	うえ だ てつ ひろ 上 田 哲 大	—————
糖尿病内科 (予約)	—————	はし もと よし たか 橋 本 善 隆	きた がわ のり ゆき 北 川 功 幸	北 川 功 幸	はま ぐち まさ ひで 濱 口 真 英
ペースメーカー 外来	—————	—————	—————	—————	福 居 顯 介 (偶数月の第3週)
皮膚科	—————	—————	たか しま あや か 高 島 彩 加	—————	こ もり ひろ ゆき 小 森 寛 之
泌尿器科	—————	し みず てる き 清 水 輝 記	—————	お ぐら りょう た 小 倉 涼 太	—————
外科1診	い むら けん いち ろう 井村 健一郎	担 当 医	田 中 宏 樹	おお た あつ き 太 田 敦 貴	井村 健一郎
外科2診	た なか ひろ き 田 中 宏 樹 (乳腺)	わた なべ あきら 渡 邊 暁 陽 (乳腺)	—————	—————	—————
外科午後(予約)	田 中 宏 樹 (乳腺)	—————	田 中 宏 樹 (乳腺)	—————	—————
麻酔科 (ペインクリニック)	はし もと とも こ 橋 本 朋 子	—————	—————	—————	橋 本 朋 子
眼科	みや たに たか ふみ 宮 谷 崇 史	担 当 医	—————	宮 谷 崇 史	—————
整形外科1診	く ぼ やす おみ 久 保 恭 臣	玉 井 和 夫 (予約)	むら かみ こう じ 村 上 幸 治	久 保 恭 臣	村 上 幸 治
整形外科2診	やま さき てつ ろう 山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	—————	—————
整形外科3診	たま い かず お 玉 井 和 夫	なり た わたる 成 田 渉	—————	—————	—————
小児科	てら まち しん じ 寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二
小児科 午後(予約)	寺 町 紳 二 (循環器)	寺 町 紳 二 (予防接種)	寺 町 紳 二 (予約外来)	寺 町 紳 二 (循環器・アレルギー)	寺 町 紳 二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫自動車道インターから車で約5分/駐車(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

「がんばろう日本」～亀岡市は災害被災地の復興を支援します～